

令和5年度の学校教育目標等について

京都市立松原中学校

校是

－自律・友愛・創造－

自律：自ら学ぶ力（学ぶ楽しさを発見し、自己を変革し続けることができる力と、律する力（人との関わりを成長の糧とし、自己や他者にとってより良い判断ができる力）を鍛える。

友愛：責任ある行動をとり、学び合い、高め合う「仲間づくり」ができる生徒に育てる。

創造：自らの「夢の実現」に向けて、何事にもチャレンジする創造性豊かな生徒の育成を目指す。

令和5年度学校教育目標

「自ら考え行動し、仲間と協働できる、
未来を切り拓く生徒の育成」

目指す生徒像

○自分で判断ができ、行動に移せる生徒。

○自分の考えを相手に伝えることができる生徒。

○相手の考えをしっかりと聞き、折り合いをつけることができる生徒。

※折り合いをつける・意見が違うときに、主張し続けるや譲るではなく、双方が受け入れられる妥協点を探すこと。

○他の人を大切にできる生徒。

○目標を達成するために、仲間と協働できる生徒。

○夢や希望を持ち、実現に向けて努力できる生徒。

○学びを深めるために ICT を活用できる生徒。

令和5年度 学校経営方針

- 1 生徒一人ひとりが持てる力を発揮し、各自の自己評価を高めるために創意工夫ある教育活動を実践する。(輝く松原づくり)
- 2 すべての生徒の学ぶ権利を実現するとともに、道德教育とキャリア教育が充実した学校をつくる。
- 3 生徒集団を育て、人権文化が定着した学校づくりを推進する。
- 4 他校種間の連携や地域との交流を重視し、地域や保護者に開かれた学校とし、その中で生徒主体の教育活動を実践する学校を目指す。
- 5 学校教育目標を理解し、共有し、共にチーム（組織）の一員としての教職員集団でその達成を目指す。